



Title	プロ相だより 大阪大学大型計算機センターニュース 第108号 (Vol.28 No.1)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1998, 108, p. 201-213
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66281
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

プログラム相談員自己紹介



担当窓口：吹田

担当曜日：月曜日（10:00～12:00）

やまい なりよし
山井 成良

yamai@cc.okayama-u.ac.jp

岡山大学

総合情報処理センター・助教授

（自己紹介）

岡山大学総合情報処理センターの山井です。

大型計算機センターを離れてから早くも半年が経過しようとしています。この半年の間、汎用機の更新や、センター長をはじめとする人事異動により、センターは大きく様変わりしました。特に、全国の大型計算機センターに先駆けて従来の汎用機を廃止したため、私を含めて利用者の方々の中には戸惑いを感じている方も多くおられると思います。

しかし、汎用機は非常に高い能力を持っており、うまく使えばスーパーコンピュータ以上の働きをします。私自身も、大型計算機センター在職時から非常に興味を持っているシステムですので、皆さんとともにより良い使い方を発見していきたいと思っております。

本年度も、微力ながら皆様にお役に立てれば幸いです。

担当窓口：吹田

担当曜日：月曜日（13:00～15:00）



さいとう けんいち
齋藤 賢一

saitou@mech.eng.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院

工学研究科機械物理工学専攻・助手

（自己紹介）

皆さん、こんにちは。プログラム相談員を担当します、齋藤です。本年もよろしくお願いいたします。

私は、機械工学分野において必要な固体や流体の数値シミュレーションの研究・教育を行っております。当該分野では計算機の能力発展に寄せる期待にはとても大きいものがあると認識しています。いままで、計算規模の制限という足かせをモデル化により回避しつつ、頭の中での推測をプラスして理解していた現象を、超大規模なシミュレーションを行うことによって直接的に把握することが可能になりつつあります。

話は変わりますが、いつも”計算機って進化するものなのだな”と思います。大陸間弾道弾を正確に敵地に到達させるために真空管を光らせながら計算していた頃から数十年が経つうちに、分子や原子の運動を把握し生命現象を理解すること、または、自然界にない新しい機能を持つ材料や機構を発明すること、等々に利用できる魔法の箱へ変わってきました。また、利用形態も変化し、ネットワーク化により”いつでもどこでも誰でも手軽に”が可能になりました。ダーウィンもびっくりのスピード進化です。それらの変化をもたらした一番大きなものは、計算機のダウンサイジングによる普及度と単単度のアップではないでしょうか。計算機を理性ある多くの人が使ってきたことによって、その正しい使い方が取捨選択されてきた（進化してきた）わけです。

大型計算機センターは、計算機のリプレースを重ねながら世界でも指折りの強力なマシンが常に導入されており、同時に、システムもたぐい稀なる素晴らしいものに進化してきました。でも、多くの人が使わないとその計算機はただの箱、一歩誤るととても危険な箱になりかねません（退化します）。

プログラム相談は、いろいろな目的を持つ、たくさんの方が計算機を使う際に、できるだけ使いやすいように（私の場合『僅かながらの』）助言をする役割を担っています。いろいろな御質問・御意見をお寄せ下さったら幸いです。それがさらに計算機システム全体を進化させることでしょう。

上で偉そうなことを言ってしまったので断っておきますが、私もこの大型計算機センターの単なる1ユーザに過ぎません。私自身、ビジュアライゼーション的な機能に興味を持っていて、今年度は是非使おうと思っています。進化には自然淘汰も付きものですので不安なのですが、それでも計算機の進化に一役買っていることに違いないと勝手に確信しています。

お茶でも飲みながら、計算機の明るい進化の未来を語り合いませんか？

ということで、プログラム相談室でお待ちしております。メールもお待ちしております。

それでは、よろしくお願いいたします。

担当窓口：吹田

担当曜日：火曜日（13:00～15:00）



たかぎ たつや
高木達也

satan@gen-info.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院

薬学研究科・教授

（自己紹介）

大阪大学大学院薬学研究科の高木達也と申します。専攻は、医薬情報学、計量薬学といったところですが、いきがかり上？分子科学計算用プログラム、MOPAC、AMOSS、GAUSSIAN94 等に関する相談を受けることが多くなっています。これらのソフトに関しても、あまり難しいことはわかりませんが、初心者の方のお手伝いくらいはできると思いますので、特に、これから計算を始めてみようと考えておられる方は、遠慮なく、ご相談ください。最近、蛋白質分子全体の電子状態計算が試みられ始めるなど、計算可能な分子の規模も、一昔前では考えられないほど急速に巨大化してきました。それと共に、出力される情報も多すぎて、何がなんだかわからなくなってしまうことも少なくありません。今後は、こうした一連の出力情報をいかにまとめ上げ、現象の本質に迫ることができるかが重要なポイントになってくるものと思われまます。

もちろん、他分野の方もどうぞお気軽にご相談下さい。私にわからなくとも、どなたか、より最適な相談員の方をご紹介させていただけるかもしれません。

もう、プログラム相談を始めさせていただいてから、15年くらいたつでしょうか。「プログラム相談」そのものも、大きく変質してきました。15年前にも種々の方式の（広義の）電子メールは存在しましたし、私も使用していましたが、少なくとも大型計算機センターのプログラム相談を電子メールで行うことはありませんでした。しかし、ご承知のように、現在では相談の大半は電子メールによるものに自然に移行してきています。15年後にはどうなっているのでしょうか。ひょっとしたら、HAL9000のようなコンピュータがプログラム相談室に鎮座しているのでしょうか？

話が脱線してしまいました。古いだけで頼りない相談員かもしれませんが、利用者みなさまと一緒に勉強していきたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

担当窓口：吹田

担当曜日：火曜日（15:00～17:00）



はりま ひさともし
播磨尚朝

harima@sanken.osaka-u.ac.jp

大阪大学

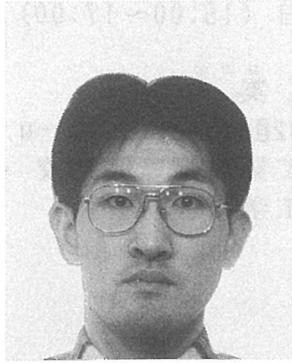
産業科学研究所・助教授

（自己紹介）

2年近く前のことですが、ファジーを専門にされている方と雑談をする機会がありました。私が Fortran を使っていると言うと、その方は驚いた表情をみせた後に、「もしかして、数値計算をされているのですか」と言われました。私が、そうですと答えると、なるほどと納得されたような顔になりました。

研究室にパソコンがなく、高級言語といえば Fortran の時代には非数値処理にも自分で Fortran のコードを書いていた。そのうち、パソコン用のアプリケーションが充実し、メモリも手軽に増やせるようになると、Fortran はおろかコンパイラを使う人も急速に減ったように思います。そういう私も13年前には会議の参加者名簿を作る時に、ACOS 上の C を用いましたが、今は市販のアプリケーションを使っています。

研究においても、以前のようにプログラムを書いている時間は少なくなり、走らせている時間のほうが多くなってきています。結果はたくさん出て、それは結構なことなのですが、すこし物足りなくもあります。相談に来た方と一緒にいろいろと工夫する機会を持ちたいと思っています。



相談窓口：吹田
担当曜日：木曜日（10:00～12:00）

みとう たかし
三藤 尚志

mito@ap.eng.osaka-u.ac.jp

大阪大学

大学院工学研究科・大学院生

（自己紹介）

大阪大学工学研究科応用物理学専攻の三藤と申します。

昨年度は通年でプログラム相談を担当させていただきました。今年は、隔週通年でやらせていただくつもりです。

大型計算機は、未だ一度も取り扱ったことはありません。昨年度の相談員担当期間中に機会をもうけて、大型計算機に関して学びたいと考えておりましたが、中途半端に終わることとなってしまいました。残念ながら、今年も研究目的で大型計算機を使用する可能性は低く、相談室に置いてあるマニュアル等を読む程度になると思いますが、大型計算機に対する興味は失わないようにしたいと考えております。

相談に対応することができる領域は、C、Linuxなどです。ネットワークに関しては学習中ですが、相談を受けることによって私自身の理解を深めることができると期待がありますので、相談領域に含めたいと思います。

本年度もよろしくお願いいたします。

相談窓口：吹田
担当曜日：金曜日（15:00～17:00）



たけち ひでお
武知 英夫

x60602@center.osaka-u.ac.jp

阿南工業高等専門学校
機械工学科・助教授

（自己紹介）

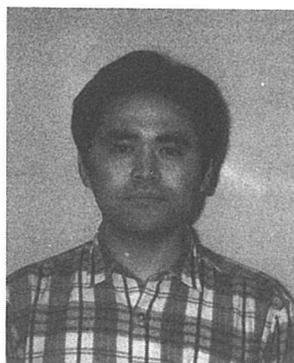
原稿が読まれている頃には、センター設立以来サービスの中心であった大型汎用機が開白以来の矛盾に対する非難を一手に背負って解任処分の執行を受けていることと思います。長期間に渡りセンターとの関わりあいのあった私の見る限り、大型汎用機も未だ任務を全うすることなく退くことになり、口惜しさ極まりなく万感の思いいかばかりかと察せられます。私も汎用機と一蓮托生ここでプツンとも思ったのですが、既に娑婆でも大人気のUNIXへの未練に足を引っ張られた結果、今回もまたプロ相をお引受けする次第です。

前から感じているのですが、現在ネットワークコンピューティングを行っているユーザーの9割以上がホストを固定している筈です。もしホストを変化させようとする、使い勝手が超難しくなります。未だネットワークの中に網制御装置が稼動していないために、人力で網制御装置の肩代わりをする必要があるため、以前より一層使いにくいシステムになっている事実があります。ただし、唯一ネットワークの中で巧く機能しているのが、メールとニュースでサーバーがメールマシンとか皮肉られるのはこのためです。

なぜこのようなことを申し上げるかといえば、センターに設置するマシンは果たしてネットワークで利用しやすくなったのか、というユーザーの疑問にセンターが本当に答えられるのかどうか、センターはもっと努力すべきであると考えます。

担当窓口：豊中

担当曜日：火曜日（13:00～15:00）



やました みちる
山下 満

myn@phys.wani.osaka-u.ac.jp

大阪大学

大学院理学研究科・D3

（自己紹介）

私は現在、KKR・CPAという手法を用いて、主に固体中の電子状態計算（バンド計算）を行っております。修士課程では、カオスニューラルネットワークモデルを利用して、イジングスピングラス系のエネルギー最適化を行っていましたが、プログラムのデバッグはPC上で行っていたために、大型計算機センターはあまり利用しておりませんでした。

特にここ数年は、大型計算機センターの利用頻度もめっきり減り、計算は専ら研究室の計算機（DEC Alpha）で行っています。しかし、KKR・CPAバンド計算は、取り扱う系によっては、手近にあるAlphaマシンでも力不足なため、SX-4の並列計算の計算パワーに期待をしつつ、利用してゆきたいと考えています。

私のように理論系の研究室に所属していると、一見、ソフトウェアに強いと思われがちですが、実を申しますと、プログラムのようなソフトウェアを扱うよりも、ハードウェアを扱うほうが、どちらかと言うと得意です。

そのような訳で、プログラム相談員として力を発揮できる相談分野はFortran言語とPC端末の設定等の限られた部分となってしまいますが、少しでもお役に立てるように頑張りたいと思っています。

相談窓口：豊中
担当曜日：水曜日（10:00～12:00）



みやけ ひろゆき
三宅 博之
大阪大学
大学院理学研究科・D3

（自己紹介）

大阪大学大学院理学研究科物理学専攻D3の三宅といいます。昨年度は豊中地区の火曜日の10:00から12:00のプログラム相談員を隔週で担当していました。

SXなどは普段使用していませんが、研究室の方ではワークステーションの管理をしています。ですから、SXの使い方などについてはほとんど貢献できないと思いますが、自分のできる範囲で質問に答えたいと思っています。よろしく願いいたします。



担当窓口：豊中
担当曜日：金曜日（15:00～17:00）

たなか たくお
田中 拓男

tanaka@ee.es.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院

基礎工学研究科・助手

（自己紹介）

基礎工学部電気工学科の田中と申します。

私の専門は、光計測、応用光学で、光を用いたセンサーや計測システムに関する研究を行っています。計算機は、主に光の電場強度分布や散乱場の計算に使用しておりますが、昨年のスーパーコンピュータSX-4の導入と今年のACOSに変わる新システムの導入で、いよいよ本格的に3次元空間での光の場を計算できるようになり、ひとつ大規模な電磁場の解析にも手を出そうかと考えています。

私自身は、大型計算機そのものを扱った経験は少ないのですが、プログラミングに関する事では、FORTRANやC、C++について幾分かの経験があるのと、UNIXや電子メール等に関しては少し経験がありますので、少しはお役に立てると思います。

また、計算機センターの役割は、大規模な計算システムを提供する以外に、各種の可視化ツールの提供や、高価なカラープリンターなど出力機器の提供も大きな役目であると考えております（豊中地区に無いのが不満なのですが）。このような可視化ツールや出力機器に関しましても、若干の経験がありますので、何かお役に立てる事もあるかと思えます。

もし、何か計算機を使っている上でトラブルに遭遇しましたら、気軽に相談室にいらして下さい。

平成10年度前期 プログラム相談室担当表 (吹田地区相談室)

平成10年度前期 (5月1日～9月30日) のプログラム相談室の担当は次のとおりです。
 【相談方法】 来室 (本センター プログラム相談室) / 電話 06-879-8808 (共同利用棟)、3858 (大阪大学の方は内線番号に) / FAX 06-879-8814 / E-mail questions@center.osaka-u.ac.jp

曜日・時間	月曜日		火曜日		水曜日	
	10時～12時	13時～15時	10時～12時	13時～15時	10時～12時	13時～15時
氏名・所属	山井成良 岡山大学大学院 センター・助教授	齋藤賢一 大阪大学 工学部・助手	高木達也 大阪大学 薬学部・教授	播磨尚朝 大阪大学 産研・助教授	豊中地区プロ 相談室へ	15時～17時
専門分野	分散システム	マイクロ・イミクスと コンピュータシミュレ ション		固体電子論		
相談分野	① スーパーコンピュータ (SX-4) ② 利用形態 ③ アプリケーション ④ ツール ⑤ 画像処理 ⑥ 高速化 ⑦ 並列化	① 経理、ハッチ機 ② FORTRAN90/SX他 ③ Open GL ④ シェル ⑤ AVS, SX-View	① 経理、ハッチ機 ② FORTRAN90/SX他 ③ Open GL ④ GAUSSIAN94 他 ⑤ 高速化技法	① 経理、ハッチ機 ② FORTRAN77/SX ③ FORTRAN77 他 ④ MLIR, ASL ⑤ Gaussian, SPSS		
◆演算サ-バ Exeplar 利用形態 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① LSF、織 ② C, CC++ 他 ③ ④ ⑤ ⑥	① C, CC++ ② IRIS Explore他	① FORTRAN77 他 ② MLIR, ASL ③ Gaussian, SPSS	① FORTRAN77&90 ② AMOSS7 リバースト		
◆画像処理サ-バ ① ② ③	① C, CC++ ② Open GL ③ IRIS Explorer ④ AVS	① FORTRAN77&90 ③ Netscape ⑤ SPSS 他				
◆画像処理端末 ① ② ③ ④ ⑤	① hterm ② PPP、TCP/IP他	① FORTRAN77&90 ③ Netscape ⑤ SPSS 他				
◆端末通信ソフト7	① PPP、TCP/IP他	① FORTRAN77&90 ③ Netscape ⑤ SPSS 他				
◆ネットワーク	① PPP、TCP/IP他	① FORTRAN77&90 ③ Netscape ⑤ SPSS 他				
備考	通年毎週	通年毎週	通年毎週	通年毎週	通年毎週	通年毎週

(組)

曜日・時間	木曜日		金曜日	
	10時~12時	13時~15時	10時~12時	13時~15時
氏名・所属	三藤尚志 大阪大学工学部			武知英夫 阿南高等学校機械科
専門分野	高分子の膨張・収縮ダイナミクス			接合科学
相談分野				
◆スライム・コンピュータ用形 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦				② FORTRAN77/SX
◆演算機・Exemplar用形 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥				② FORTRAN77
◆画像処理サーバ ① ② ③				
◆画像処理端末 ① ② ③ ④ ⑤	① C, C++ ③ Netscape ⑤ Mathematica			③ Netscape
◆端末通信ソフト				○ イミュータ
◆ネットワーク				○ PPP, TCP/IP
備考	通年隔週			通年隔週



平成10年度前期 プログラム相談室担当表 (豊中地区相談室)

平成10年度前期 (5月1日～9月30日) のプログラム相談室の担当は次のとおりです。
 【相談方法】来室 (豊中アーケステーション プログラム相談室) / 電話 06-850-6062 (大阪大学の方は内線番号に) / FAX 06-879-8814 / E-mail questions@center.osaka-u.ac.jp

曜日・時間	月曜日		火曜日		水曜日	
	10時～12時	13時～15時	10時～12時	13時～15時	10時～12時	13時～15時
氏名・所属	吹田地区プログラ ム相談室へ	吹田地区プログラ ム相談室へ	山下 満 大阪大 理学研究科・D3	吹田地区プログラ ム相談室へ	三宅 博之 大阪大 理学研究科・D3	
専門分野			物性理論 (電子状態計算)		物性理論	
相談分野						
◆スーパーコンピュータ(SX-4) 利用形態 ①言語ライブラリ ②アプリケーション ③イメージング ④高速化 ⑤並列化			①会話型 ②FORTRAN77/SX — — —		— — — — —	
◆演算機 Exemplar 利用形態 ①言語ライブラリ ②アプリケーション ③イメージング ④高速化 ⑤並列化			② FORTRAN77 — — —		— — — —	
◆画像処理 ①言語ライブラリ ②アプリケーション ③イメージング ④高速化 ⑤並列化						
◆画像処理 ①言語ライブラリ ②アプリケーション ③イメージング ④高速化 ⑤並列化			① FORTRAN77&90 — ③ Netscape — —		— — ③ Netscape — —	
◆端末通信ソフト			0メール、ユーザリター ン		0メール、ユーザリター ン	
◆ネットワーク			○PPP、TCP/IP 他		—	
備考			前期隔週		通年隔週	

(表中)

曜日・時間	木曜日		金曜日	
	10時～12時	13時～15時	10時～12時	13時～15時
氏名・所属	吹田地区プログラム相談室へ			田中拓男 大阪大学 理工学部・助手
専門分野				光計測 応用光学
相談分野				
◆サーバ・コンピュータ(SX-4) 形態 ① 利用アプリケーション ② 画像処理 ③ 高速化 ④ 並列化 ⑤ 磁気 ⑥ 並列化 ⑦ 磁気				① 会話型 ② FORTRAN90/SX他 — — — —
◆Exemplar 形態 ① 利用アプリケーション ② 画像処理 ③ 高速化 ④ 並列化 ⑤ 磁気 ⑥ 並列化				② C, C++ 他 ④ Mathematica — —
◆画像処理サーバ ① 言語 ② 画像 ③ 可視化				① C, C++ 他 — —
◆画像処理端末 ① 言語 ② 画像 ③ 可視化 ④ 画像 ⑤ アプリケーション				① C, C++ 他 ③ Netscape ④ IRIS, Explorer ⑤ Mathematica ⑥ ネットワーク ⑦ PPP, TCP/IP他
◆端末通信ソフトウェア				
◆ネットワーク				
備考				通年毎週